

5分でeライブラリ活用

解説教材・確認問題で既習事項の復習

どのようなときに利用できるの？



先生

授業の開始、クラス全員が電子黒板に視線を集めたいとき、確認問題の付箋機能をつけています



使用教材

児童生徒メニュー：解説教材・確認問題

ねらい

既習事項の復習

展開

	学習内容（●先生 ○児童生徒）	eライブラリの画面	指導上の留意点
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ●提示する解説教材を準備する <p>【自由学習】 自分で選ぶ>教科書ページから探す</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●授業前に教材検索をしておく、授業でスムーズに提示できる
解説教材	<ul style="list-style-type: none"> ●大型モニタに解説教材を提示する ●解説教材の要点を読み上げる <p>○前時の授業内容を思い出しながらか、整理する</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●文字やイラストの注目してほしい部分を拡大することで、見やすくなる
確認問題	<ul style="list-style-type: none"> ●確認問題の問題文を読み上げ、児童生徒に解答を求める <p>○解答を発言する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●付箋をめくり、解答を確認する 		<ul style="list-style-type: none"> ●大型モニタに児童生徒の視線を集めて、反応を見ながら復習できる ●理解できていない問題を整理し、既習事項に関して補足する

利用している先生の声



- 解説を見てすぐに問題に答える流れで授業を進めるので、答えやすい雰囲気になり、クラス全体に一体感が生まれました
- 付箋をタップすると答えがわかるので、短時間でテンポよく復習できました
- 挙手制・クイズ形式で児童生徒の「答えたい！」という気持ちがより高まりました
- 児童生徒が答えに詰まる問題には、解答例やヒントを示しながら、授業内容を振り返る時間がとれました